

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【施策名：(1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 技術基準等の見直し】

配線用ラック仕様の見直し

概要：

配線用ラックをケーブル支持金具（片持型及び吊金具）にすることにより費用の縮減を図る。

効果

イニシャルコストの縮減。

設置スペースの有効利用。

施工費を 885 百万円から 237 百万円に縮減。

（縮減額 648 百万円、縮減率 約 73%）



配線用ラック



片持型及び吊金物